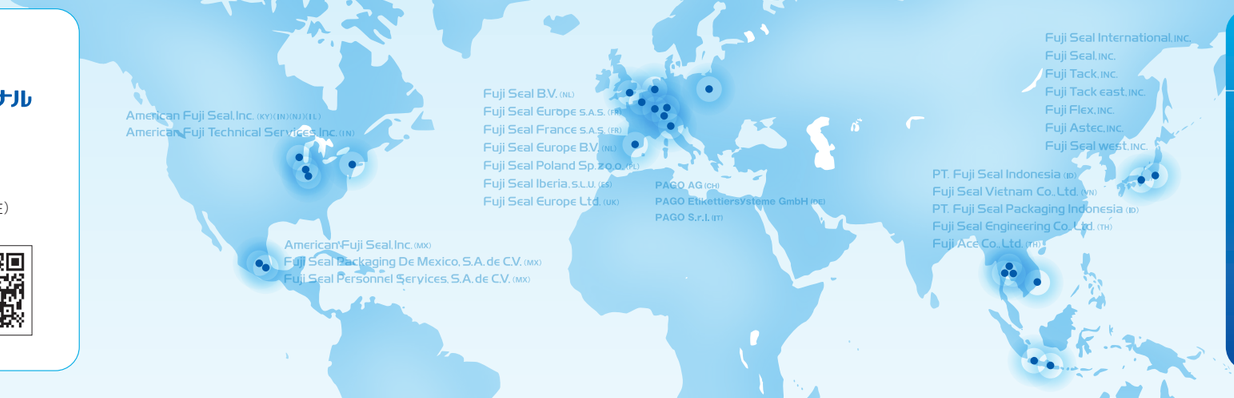
Fuji Seal
株式会社フジシールインターナショナル

連結売上高
1,384億88百万円（2016年3月決算期）
従業員数
4,001人（グループ連結）（2016年3月31日現在）
グループ会社
24社（日本6社、海外18社）

http://www.fujiseal.com/

東証一部 証券コード：7864



包んで価値を創造する

もうすぐ創業120年

1897年に誕生したフジシールは、2017年に創業120周年を迎えます。
生業は、樽の「木栓」の製造でした。
「お客様が求めるものは何か」を探し続け、容器の変化とともに変化。
顧客企業の声に耳を傾け、一緒に開発していく姿勢は創業時から変わっていません。

新幹線の旅のお供に駅弁とお茶。
昭和の時代にはツル付きの
ポリ容器のお茶が定番でしたが、
いつの間にか、飲料はペットボトルが主流となっています。
考えてみれば、売り子さんが
駅弁とセットで売るには、ポリ容器でも
よかったのでしょうが、自動販売機や
コンビニエンスストアが普及した現在は、
飲料メーカーや消費者にとって、
適切な容器かと問われれば疑問です。
容器は時代とともに変わるものです。
醤油も昔は樽に入って流通していました。
それがガラス瓶になり、いまでは
鮮度を維持するフレキシブル容器や
ペットボトルも登場しています。
容器が変わることでパッケージにも、
単に内容物を伝えるだけではなく、商品の魅力や
ブランドを訴求する加飾性が求められるようになりました。
現在では中身の品質を保持する機能が
必要になるケースもあります。

私たちの身の回りにある飲料や食品、日用品や医薬品。
こうした商品の顔となるパッケージを作っているのがフジシールです。
社名はあまり知られていませんが、
誰もが知っている商品のパッケージを手掛けている会社です。
消費者がパッケージに求めるものは変化します。
フジシールはその変化にあわせて、
パッケージの価値を変化させてきました。
『変化とともに変化する』、
これがフジシールのＤＮＡです。

多くのパッケージを手掛けるには、
それだけ多くの顧客企業とパートナーとしての
信頼関係を築くことがたいへん重要です。
お客様である企業に
選んでいただけるだけの価値をいかに創造するか。
変わるビジネス環境に変わらぬ熱意で
応え続けることが、フジシールのかかげる使命です。
包んで価値を創造するフジシールには、
顧客企業の思いをカタチに変える強い思いが、
変わらず息づいています。